

令和7年度 事業説明会



幸せがじゅずつなぎに
なるまち **伊**達

令和7年度の重点的取り組み

- ◆第3次総合計画に基づき、未来の基盤づくりのステップアップとして、「若者支援」「子育て支援」「健幸支援」「シビックプライド」の4つの柱を重点的に取り組み、選ばれるまちを目指します。
- ◆人口減少や少子高齢化等の様々な地域課題の解決に向け、将来にわたって魅力と活力のある伊達市を築くための取組を進めます。
- ◆将来に向けた財政基盤の構築を図るため、効率的な行財政運営を進めます。

若 者 支 援



子 育 て 支 援



健 幸 支 援



シビックプライド
(地域への誇りと愛着)



【幸せつなぐ4つの柱「選ばれるまち」を目指して】

■ 若者支援

人口減少が続く社会において、地域の活力を持続するには、地域における若者が活躍できる環境づくりをさらに推進し、若者が定住していくことが必要です。このため、地域における多様な担い手を育成するとともに、若者が移住定住できる基盤づくりを推進していきます。

主な取組内容

新規

まちなか賑わい創出策実証プロジェクト事業 1,271千円

新規事業にチャレンジしたい人、起業を検討している人などのために専門員を配置した相談機能を有する拠点を設置し、商店街の賑わいや雇用創出を図る

継続

移住・定住促進事業 34,454千円

移住定住コンシェルジュの配置、伊達市への移住者をフォローアップするための交流会等を開催し、移住促進を促す取り組みを実施

継続

高校生伊達な“ミライ”創出プロジェクト事業 600千円

市内の高校生に対して、地域活性化や地域の課題解決に向けた調査研究・企画立案に対する活動経費を支援し、発表する機会を設ける

継続

就農支援事業 76,377千円

新規就農者に対して、就農準備段階や経営開始時の早期の経営確立のための支援資金を交付、新規就農を志す方へ研修農場で農作業技術養成講座を実施



高校生伊達な“ミライ”
創出プロジェクト



就農支援（イメージ）

■ 若者支援

人口減少が続く社会において、地域の活力を持続するには、地域における若者が活躍できる環境づくりをさらに推進し、若者が定住していくことが必要です。このため、地域における多様な担い手を育成するとともに、若者が移住定住できる基盤づくりを推進していきます。

主な取組内容

新規

スマート農業推進事業

11,716千円

スマート農業普及のため、環境測定装置を先行導入し、農業の見える化推進と、営農指導員等の育成を実施、スマート農業機械購入費用の一部を補助し、農作業の省力化・効率化を図る



市特産のいちご

継続

だて婚活支援事業

14,224千円

結婚を希望する独身男女の出会いの場の創出や結婚を前向きに捉えることができるような環境整備を図るために新婚世帯等へ住宅取得などの費用を助成

継続

保育職就労支援推進事業

41,094千円

保育士不足に対応するため市内に就労した私立園の保育士に対し一時金を支給し、保育士確保に向けた取組みを実施する



地域おこし活動報告会
(R6開催)

継続

生き活き集落づくり事業

13,763千円

人口減少や高齢化の進展に伴い、「よそ者」・「若者」の視点による活動を通じて地域力の維持・強化を図る「地域おこし支援員」を配置する

子育て支援

すべての伊達っ子たちが生涯にわたって幸福な生活が送れるように健やかな育ちを促すこと、そして、保護者が安心して子育てができ、子育ての楽しさや喜びを感じられることを目指します。

取組内容

新規

1 か月児健康診査事業 1,647千円

1 か月児健康診査費用の助成と、必要に応じた母子訪問等により、
出生時から切れ目のない健康診査の実施体制を整備する



1 か月児健康診査（イメージ）

新規

伊達っ子の誓い推進事業 0千円

○D20サミットの開催
子どもたちの意見発表や社会参加の機会として
市内小中学校の児童・生徒を招集しD20サミットを開催

新規

○放課後児童健全育成事業 4,266千円

休園する栗野・堰本幼稚園のトイレ修繕、カーペット設置を行い、
放課後児童クラブ機能を移転、施設の利活用と環境改善を図る

一新

○子どもの未来応援ネットワーク事業 2,824千円

支援が必要な家庭に対して、学習習慣の定着や、自己肯定感・協調性
などの醸成を図り、学習支援と体験活動を行う居場所を作る



D20サミット（R5開催）

子育て支援

すべての伊達っ子たちが生涯にわたって幸福な生活が送れるように健やかな育ちを促すこと、そして、保護者が安心して子育てができ、子育ての楽しさや喜びを感じられることを目指します。

主な取組内容

一新

部活動地域移行支援事業 11,667千円

コーディネーターの設置、地域指導者の人材バンク作成による指導者確保、指導者講習会の開催

継続

伊達市版ネウボラ推進事業 28,230千円

妊婦等の心身の状況、家庭環境を把握し、子育てに関する情報提供や相談等で切れ目ない子育て支援を行うとともに、子育てにかかる専門職による伴走型支援の強化を図る

継続

出産・子育て応援事業 28,000千円

子ども・子育て支援法に基づき「妊婦のための支援給付金」として、妊娠届出時5万円、出産届出時5万円を支給し、妊婦の産前産後期間における経済的負担をサポートする

継続

放課後児童健全育成事業 320,198千円

子どもの健やかな育ちを促すため、放課後児童クラブを運営し、遊び及び生活や学習の支援を行い、質の高い居場所を提供する



かみほばら放課後児童クラブ



子育て相談（イメージ）

■ 健幸支援

「健幸都市」の実現に向け、市民・地域主体の健康づくり、疾病予防に向けたサービス提供など、予防を重視した事業の実施により健康寿命を延ばし、誰もが安心して暮らし続ける地域づくりを目指します。

取組内容

新規

高齢者ライフサポート事業 1,042千円

エンディングノートの普及啓発、高齢者ライフサポート窓口の設置等により、終活の支援と安心して暮らせる地域づくりを目指す

新規

歯っぴー健口事業 2,228千円

年度内に20・30・40・50・60・70歳になる市民を対象として、歯周疾患検診及び歯科保健指導を実施



歯科健康指導（イメージ）

新規

骨髄移植ドナー支援事業 140千円

骨髄バンクに登録し、骨髄等の提供を行った市民のうち、ドナー休暇がない方を対象として、休業補償分を助成

新規

帯状疱疹ワクチン接種事業 19,479千円

令和7年4月1日から定期接種化される帯状疱疹について、65歳の方などの対象者へ、ワクチン接種費用の一部を助成する



ワクチン接種（イメージ）

■ 健幸支援

「健幸都市」の実現に向け、市民・地域主体の健康づくり、疾病予防に向けたサービス提供など、予防を重視した事業の実施により健康寿命を延ばし、誰もが安心して暮らし続ける地域づくりを目指します。

主な取組内容

一新

健康運動習慣化支援事業 31,379千円

生活習慣病を予防し健康寿命の延伸を図るため、「元気づくり会」を実施
令和7年度は、集会所のない地域において、地区交流館や中央交流館等を会場とし、元気づくり会の普及拡大を図る



だてな健幸ウォークinりょうぜん

継続

健幸都市推進事業 10,303千円

ウォーキングイベントの開催やウォーキングコースの新設、「だてな健幸ポイント事業」により、「歩く」ことを基軸とした健幸都市づくりを推進
令和7年度は、月館地域においてウォーキングイベントを開催する

継続

認知症予防事業 5,524千円

認知症の正しい知識の普及啓発、地域での支え合いや支援体制を強化するため、オレンジフェスティバルの開催や、認知症チームオレンジによる見守り・交流の実施、出前講座開催などを継続する（介護保険特別会計事業）



さすけねえサロン

■シビックプライド(地域への誇りと愛着)

市内外に伊達市の認知度の向上や、魅力の共感を獲得するために、市民がまちに対して「誇り」を持ち、まちに積極的に関わりたいという意欲を持ったシビックプライドの醸成を目指します。

主な取組内容

一新

伊達食ブランド化推進事業 6,260千円

ふくしま三大鶏フェスなどの事業をとおして地域に根差し市民に愛される伊達鶏を育て、ブランド化の推進を図るとともに、認知度を向上させるため、おにぎりサミットに参加し、伊達鶏をはじめとする伊達市の物産のプロモーションを展開していく



伊達市産「あんぽ柿」の
トップセールス

継続

シティプロモーション推進事業 4,674千円

伊達なふるさと大使、伊達な宣伝部長、だてフォト部の活動などを通じて、伊達市の魅力を発信するシティプロモーションを推進するとともに、市民向けの魅力発信など、インナープロモーションを強化していく

継続

農産物魅力発信事業 26,555千円

原発事故以来続く風評被害を払拭に向け、本市農産物を首都圏などへ広くPRし、本市の基幹産業である農業の振興や発展につなげる



伊達市をもっと好きになる
「あそばね会」

一新

史跡整備保存活用事業 11,609千円

歴史公園とガイダンス施設整備のための史跡整備基本計画を策定、梁川城址の除草管理、歴史文化講演会の開催

■シビックプライド(地域への誇りと愛着)

市内外に伊達市の認知度の向上や、魅力の共感を獲得するために、市民がまちに対して「誇り」を持ち、まちに積極的に関わりたいという意欲を持ったシビックプライドの醸成を目指します。

取組内容

新規

脱炭素化推進事業

33,847千円

脱炭素推進事業債を活用し、「霊山総合福祉センター」
「上保原小学校屋内運動場」のLED改修工事を実施

新規

消防団活動事業

1,826千円

準中型車（3.5t以上）の消防車両を運転できるようにするため、
消防団員に対して準中型免許取得経費を助成



消防車両

新規

ごみ減量化リサイクル事業

2,450千円

生ごみ処理機購入費補助、小型家電・未使用食料品等回収、出前講座や
減量化の周知・啓発等を実施しごみの発生抑制と資源の有効活用を図る



ごみ収集（イメージ）

一新

伊達市版ふくしまDC事業

13,751千円

ふくしまDCを市内観光誘客の契機と捉え、家族向けの特設ページを創設、
伊達食のグルメマップの制作、市内のお得情報やイベントなどが一目で
わかるアプリを制作し、観光誘客に向けた情報発信を強化する

■経済対策

物価高騰が続く中、その影響を受けやすい世帯や事業者等に対する支援を実施します。
【令和6年度からの繰越事業】

取組内容

物価高騰対策給付金給付事業

203,572千円

令和6年度個人住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり3万円の給付金を給付
18歳以下の子どもがいる世帯には、子ども1人あたり2万円を加算して給付

※令和6年度から一部実施

物価高騰対策給付金（燃料費支援）給付事業

38,261千円

令和6年度個人住民税非課税世帯に対し、価格が高騰している燃料費の購入支援
として、1世帯あたり6千円を給付

※令和6年度から一部実施

農業振興対策補助事業

34,758千円

農業資材等の物価高騰の影響を受ける農業者の負担を軽減するために補助金を交付

令和6年分所得申告の農業経費（肥料費、飼料費など）として申告した金額に対して補助（上限3万円）

地域経済活性化事業（プレミアム商品券発行）

136,758千円

市内消費の喚起策、市民の消費下支え、市内中小企業に対するエネルギー価格高騰

対策支援としてプレミアム付商品券を発行（プレミアム率50%、5,000円で7,500円分の商品券）

■経済対策

物価高騰が続く中、その影響を受けやすい世帯や事業者等に対する支援を実施します。
【令和6年度からの繰越事業】

取組内容

子育て世帯の給食費負担軽減事業

8,811千円

米や野菜などの価格高騰により、保護者の給食費負担が増えないよう維持する

中小企業燃料費等高騰対策応援金

27,629千円

市内事業者に対する燃料費等の価格高騰の支援策として、事業用の燃料費及び光熱費に対して、費用の一部を補助（1か月分の燃料費または光熱費が10万円以上で一律5万円補助）



学校給食（イメージ）



ガソリン給油（イメージ）

魅力いっぱい伊達市

伊達市の情報はこちらから



伊達市 HP



Instagram



YouTube



#幸せがじゅずつなぎになるまち伊達

